

「倉重光則+天野純治展 ミニマリズムのゆくえ」

プレスリリース



左=倉重光則 《光と物の間》 2020年 Steps Gallery (東京)
右=天野純治 《field of water #013015》 2013年 個人蔵

1 開催趣旨

倉重光則 (くらしげみつのり) (1946~ 三浦市在住) は、1960 年代よりパフォーマンス、写真、映像など、幅広い表現活動を行っています。なかでも、蛍光管やネオン管の人工的な〈光〉による眩惑的な作品は、倉重の代名詞ともなっています。本展では、この〈光〉を用いたインスタレーション作品のほか、野外展示、新作の映像作品など約 10 点をご覧いただきます。

天野純治 (あまのじゅんじ) (1949~ 葉山町在住) は、常に真摯に平面と絵画表現の臨界に取り組み続けています。近年はアクリルや顔料の層を重ねる技法によって色彩を物質化したような「field of water」シリーズを多く制作しています。本展では、1990 年代後半の鉛を用いた代表的な平面作品に、ドローイング、新作をあわせて約 30 点をご紹介いたします。

本展は、ミニマリズムから出発した二人の近作、新作を中心に構成し、作品世界の響きあいに出会う、またとない機会となります。

2 会期・休館日・観覧料

会 期: 2020 年 (令和 2 年) 11 月 14 日 (土) ~12 月 25 日 (金)

開館時間: 10 時~18 時

休館日: 12 月 7 日 (月)

観覧料: 一般: 1000 (800) 円、高大生、65 歳以上: 800 (640) 円

* () 内は 20 名以上の団体料金。

3 主催等

主催: 横須賀美術館

4 関連事業

詳細は美術館 HP (<https://www.yokosuka-moa.jp/event/index.html>) をご覧下さい。

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ: <https://www.yokosuka-moa.jp> E-mail: kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関するご質問 広報係: 相良、八島、江山 電話 046-845-1211

○展示内容に関するご質問 担当学芸員: 工藤、栗林 電話 046-845-1212

本展の見どころ

1. 眩惑的な〈光〉を用いて空間を変容させる倉重光則

倉重光則は、既成の美術の枠組みを打ち壊そうとする動きが先鋭した1960年代より本格的に活動を始めます。そのなかで、モノを見せると同時にモノを消すという〈光〉の採用に注目し、以来、蛍光管やネオン管の人工的な〈光〉を用いた眩惑的なインсталレーション作品を発表しています。

なかでも、本展に出品予定の鉄板をトンネル状に組み合わせた作品《ガス上の不確定性正方形》は、実際に観覧者が前途のモノを消す〈光〉の作用を体感できる作品です。

※作品タイトルは変更になる場合があります。



倉重光則 《ガス上の不確定性正方形》

2003年 神奈川県民ホールギャラリー

2. 版技法による〈色彩〉の物質性を探求する天野純治

天野純治はアクリルや顔料の層を重ねることによって色彩を物質化したような作品を制作しています。

本展では色鮮やかでつややかな「field of water」シリーズ8点のインсталレーションや、全く質感の異なる「the warm snow」「voice of wind」シリーズなど近新作を中心に一挙に展示し、触覚に訴えかけてくるような作品群を体験していただきます。



天野純治 《field of water # 015018》

2015年 作家蔵

3. 美術館「海の広場」に設置された倉重光則の野外作品にも注目

会期中、美術館「海の広場」には、倉重光則によるインсталレーション作品の設置を予定しています。

現在、倉重作品の特徴であるネオン管と人型モチーフ「EVE (イーバ)」を中心に構想されている作品は、昼と夜、波や風の音など、刻一刻と移り変わる美術館周囲の自然環境との相互作用によって、常に新鮮な体験を私たちに与えてくれます。



倉重光則 《EVE》 2019年 旧紙庫スペース

「回遊劇場／大分アートフェスティバル2019」

4. 倉重光則+天野純治展 展覧会情報をYouTubeにて配信予定

横須賀美術館公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC_QU5GbS13PzNVyvdnoNSGQ/featured

掲載図版／プレゼント用招待券申込書

FAX : 046-845-1215 横須賀美術館広報係行き

「倉重光則＋天野純治展 ミニマリズムのゆくえ」

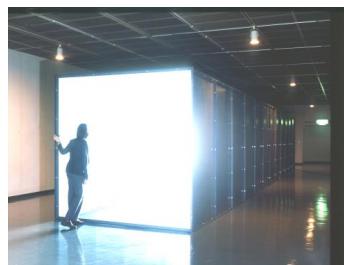
2020年(令和2年)11月14日(土)～12月25日(金)

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券(ペア10組分/20枚まで)をご希望の方は、下記へご記入の上FAXにてご請求ください。前頁「図版の使用について」をご一読の上、必要な図版に☑してください。

※倉重光則作品画像は、過去の展示風景のものです。展示作品は変更する可能性がございます。



倉重光則 《光と物の間》
2020年 Steps Gallery (東京)



倉重光則 《ガス上の不確定性正方形》
2003年 神奈川県民ホールギャラリー



倉重光則 《精神》
2014年 奈義町現代美術館 (岡山)



天野純治 《field of water # 013015》
2013年 個人蔵



天野純治 《field of water # 015018》
2015年 作家蔵



天野純治 《VOICE OF WIND 98-GG-1》
1998年 東京都現代美術館蔵

必ずご記入ください⇒ ○貴社名

○電話

○貴媒体名

○ご芳名(ご所属)

○メールアドレス(画像データ送付先)

○掲載・発行予定日 月 日 発行・公開 ○使用形態 印刷物 WEB 映像

○ご要望事項(サイズ・解像度など)

○読者・視聴者プレゼント用招待券 希望する(枚) 希望しない

※最大10組20名様分(20枚)まで。本展を貴媒体でご紹介いただける場合に限ります。

○ご住所(チケット送付先)

○図版の使用等について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

- ・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。
- ・作品画像は全図で使用してください。
トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。
- ・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。
- ・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。
- ・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。
- ・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。
- ・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。
- ・原稿は掲載前に必ず当館「広報係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。
- ・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「広報係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。
- ・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「広報係」あてに1部以上お送りください。

○プレゼント用招待券について

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を20枚（10組20名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

○交通のご案内

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」
下車徒歩2分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）

